

人体の構造と機能Ⅳ	1年・後期	1単位 15時間	助教 倉林 梢
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32110241

1. 授業のねらい・概要

看護学生が看護の対象である人間を理解するためには、その生物学的側面である人体の構造と機能を学習する必要がある。人体の構造と機能の科目では、解剖学と生理学を結びつけて学習し、学生が複数の要素を理論的にまとめた内容として理解できるようになることを目的とする。Ⅳでは、神経系、内分泌系、生殖器系について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 学生が生体における神経系の役割と重要性を説明できる。(D-2)
2. 学生が神経系全体の分類(中枢・末梢/自律・体性/求心性・遠心性)を述べることができる。(D-2)
3. 学生が中枢神経系と末梢神経(体性・自律/求心・遠心)の構造と機能を説明できる。(D-2)
4. 学生が生体における内分泌の役割と重要性を説明できる。(D-2)
5. 学生が各ホルモンの作用、フィードバック・制御、産生臓器・組織、標的臓器・組織について説明できる。(D-2)
6. 学生が生体における生殖器の役割と重要性を説明できる。(D-2)
7. 学生が男性生殖器・女性生殖器の構造と機能を説明できる。(D-2)
8. 学生が神経・内分泌・生殖器疾患を理解するため、神経系、内分泌系、生殖器系の解剖生理学的知識を説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが、動画の視聴や参考資料のプリントの配布も行う。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、リフレクションペーパーによるリフレクションを毎回行う。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Googleclassroom等による、学習課題や教材の提示、課題の解説等。

4. 授業計画 (講義)

回	授業内容	授業形態	事前事後学修(学修課題)	担当
1	神経系 1) 分類, 構造と機能 P342～358	講義	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を読み, 不明点を把握して授業に臨む。 復習: 授業資料および, テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林梢
2	神経系 2) 中枢神経系 P359～375	講義	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を読み, 不明点を把握して授業に臨む。 復習: 授業資料および, テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
3	神経系 3) 生体のリズム, 末梢神経系 P376～379, P382～395	講義	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を読み, 不明点を把握して授業に臨む。 復習: 授業資料および, テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
4	内分泌系 1) 概論, 脳 P504～516	講義	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を読み, 不明点を把握して授業に臨む。 復習: 授業資料および, テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
5	内分泌系 2) 甲状腺, 上皮小体, 膵臓 P517～523	講義	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を読み, 不明点を把握して授業に臨む。 復習: 授業資料および, テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
6	内分泌系 3) 副腎, 性腺, その他 P524～535	講義	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を読み, 不明点を把握して授業に臨む。 復習: 授業資料および, テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林

			振り返る。	
7	生殖器系 1) 女性生殖器 P538～557・562・P563・572・573	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、 不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を 振り返る。	倉林
8	生殖器系 2) 男性生殖器 P574～581 定期試験	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、 不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を 振り返る。定期試験で間違えたところを確認し、授業 資料やテキストを用いて正しい知識をまとめる。	倉林

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）100%の結果のみで評価する。成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した評価観点毎に、ルーブリック評価（到達は A 評価）とする。ルーブリック評価表に関する詳細は、第 1 回講義内で別途説明する。定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武田裕子，林正健二編（2023） ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学（第 5 版） メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 90 分の予習及び授業内容について 90 分以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動（携帯電話使用等）は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と解答は後日掲示，または Googleclassroom 等を用いて解説する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（学生便覧・履修要項参照）

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。